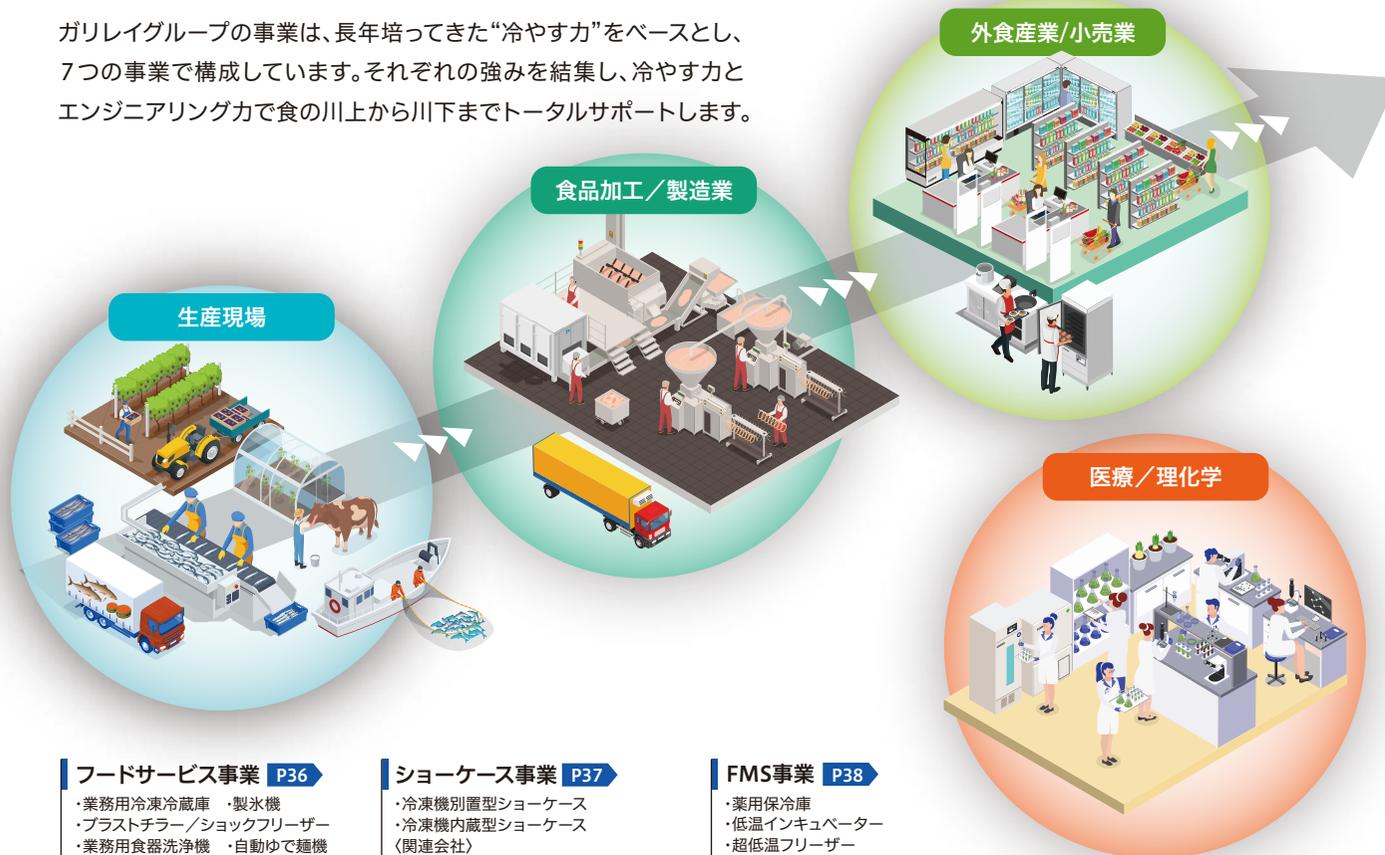


事業戦略

ガリレイグループ7つの事業

ガリレイグループの事業は、長年培ってきた“冷やす力”をベースとし、7つの事業で構成しています。それぞれの強みを結集し、冷やす力とエンジニアリング力で食の川上から川下までトータルサポートします。



ガリレイグループ

ガリレイグループは、2025年4月より持株会社体制に移行しました。持株会社はグループ全体の戦略の策定とガバナンスを担当し、各事業会社は自律的かつ機動的に事業を推進します。グループ独自の強みを生かしながら、事業活動を通じて社会課題の解決と事業領域の拡大に取り組み、新しい価値を社会に提供することで、パーパスの実現を目指します。

■ フクシマガリレイ株式会社

業務用冷凍冷蔵庫の規格化と量産を日本国内で初めて成し遂げ、業務用冷凍冷蔵庫や冷凍冷蔵ショーケースの製造及び販売を核として成長を続けてきました。「冷やす技術」を活かし、食のインフラだけではなく医療理化学分野や食品工場、温度管理システムまで、様々な分野で人々の生活や経済活動を支えています。

■ ガリレイパネルクリエイト株式会社

環境配慮型の高性能断熱パネルと設計施工技術で、食品加工室や低温物流施設、クリーンルームなどに最適な「冷凍冷蔵空間」、「クリーンな作業空間」を提供しています。

■ タカハシガリレイ株式会社

連続式の急速冷却・凍結装置「トンネルフリーザー」を日本で初めて開発・設計・製造したパイオニアです。65年以上の実績とオーダーメイドの高い技術力で、国内トップシェアを誇ります。

■ ショウケンガリレイ株式会社

食品工場向け機械設備・駆動系装置の専門メーカーとして、数多くの生産ライン・物流ラインの自動化・省人化・省力化を実現しています。

■ 日本洗浄機株式会社

食器洗浄機、自動調理機などを製造・販売。省エネ・節水・省力化に優れた技術力を持ち、フードサービスの生産性向上に貢献しています。

フードサービス事業 P36

- ・業務用冷凍冷蔵庫 ・製氷機
 - ・プラストチラー/ショックフリーザー
 - ・業務用食器洗浄機 ・自動ゆで種機
- 〈関連会社〉
 フクシマガリレイ株式会社
 日本洗浄機株式会社

ショーケース事業 P37

- ・冷凍機別置型ショーケース
 - ・冷凍機内蔵型ショーケース
- 〈関連会社〉
 フクシマガリレイ株式会社

FMS事業 P38

- ・薬用保冷庫
 - ・低温インキュベーター
 - ・超低温フリーザー
- 〈関連会社〉
 フクシマガリレイ株式会社

サービス事業 P39

- ・機器のメンテナンス ・保守契約
- 〈関連会社〉
 フクシマガリレイ株式会社
 タカハシガリレイ株式会社
 ショウケンガリレイ株式会社
 日本洗浄機株式会社

エンジニアリング事業 P40

- ・設備プランニング
 - ・CO₂冷凍システム「NOBRAC」
- 〈関連会社〉
 フクシマガリレイ株式会社

大型食品加工機械事業 P41

- ・トンネルフリーザー
 - ・スパイラルフリーザー
 - ・生産、搬送ライン
- 〈関連会社〉
 タカハシガリレイ株式会社
 ショウケンガリレイ株式会社

パネル事業 P42

- ・小型プレハブ庫
 - ・食品工場、大型冷蔵庫
 - ・クリーンルーム
- 〈関連会社〉
 ガリレイパネルクリエイト株式会社

事業領域の拡大

ガリレイグループは、パーパス「食といのちの未来を拓く」の実現を目指し、これまでの「食」の領域に加え「いのち」の分野へ事業領域を拡大し、持続的な企業成長を図っています。さらなる選択と集中により、既存事業の着実な成長と市場の変化を見通し、食・人・地球の「いのち」の成長市場に積極的に投資を行い、グループの成長を促進していきます。

製薬・医療市場



製薬・再生医療の冷凍冷蔵・クリーンルーム市場をターゲット

製薬市場と再生医療分野は、技術革新や社会的ニーズの変化により、今後も成長が期待される分野です。特に、個別化医療や再生医療は、患者に新たな治療の選択肢を提供し、医療の質を向上させる可能性があり、積極的な設備投資が見込まれています。これらの拡大する需要に対応するため、グループで連動できる体制を整備し、冷蔵冷凍空間及び非冷空間の案件と設備機器のトータル提案の取り組みを推進しています。

■ 取り組み事例

リージョナルフィッシュ株式会社 研究開発拠点

リージョナルフィッシュ様は、ゲノム編集技術を活用した水産物の品種改良を行っています。研究用の低温インキュベーターや舟形シンクと製氷機、プレハブ冷蔵庫を、グループ力を結集し、施工しました。



物流市場



低温倉庫市場の開拓を目指す

冷凍食品の堅調な売上増に伴う冷凍倉庫の需要拡大、物流の2024年問題による配送中継地点の整備拡大、既存倉庫の設備老朽化、フロン規制による供給不足の拡大など、これらの社会背景により急速に開発が進む低温倉庫の需要に対応するため、グループで連動できる体制を整備し、省エネ・省力化・環境性能重視の設計力と製品力を武器に、市場開拓を推進しています。

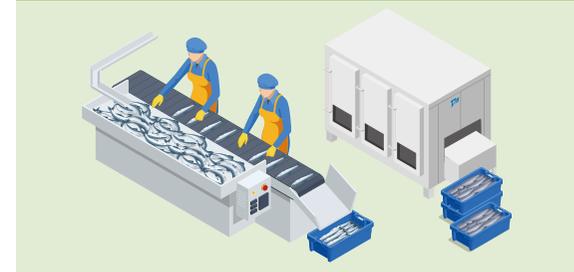
■ 取り組み事例

イオングローバルSCM株式会社 イオン福岡XD(クロスストック)

イオングローバルSCM様は物流社会課題の解決とカーボンニュートラルへの貢献を両立する取り組みとして、2024年7月に福岡県アイランドシティ内に新たな物流拠点「イオン福岡XD」を稼働されました。その中の低温倉庫を、グループにて施工しました。



食品工場市場



食品工場をターゲットにグループ占有率の向上を目指す

冷凍食品の堅調な売上増と設備老朽化、フロン規制により、食品工場における積極的な設備投資が今後も拡大されると見込まれます。これらの需要に対応するため、グループで連動できる体制を整備し、食品工場におけるグループの占有率の向上を推進しています。

■ 取り組み事例

株式会社ミック 本社工場

ミック様は、兵庫県神戸市を拠点にする通関業並びに水産加工業の会社です。西日本最大級のサケの切り身加工工場として、最新設備導入とライン化においてグループ力を結集し、施工しました。生産工期短縮により、従来の2倍の生産性向上に貢献しました。



グループシナジー

長年培ってきた“冷やす力”と高度な“エンジニアリング力”で、お客様の幅広いニーズにも応え、生活者の「食」の安全・安心を守ります。グループ各社それぞれの“らしさ”と“コア技術”が融合して生まれるシナジーにより、新しい価値を社会に提供していきます。グループシナジーを発揮し、顧客課題にワンストップで応えます。

グループ戦略会議

グループ全体の戦略策定を検討する機関として、2025年4月より新たにグループ戦略会議を立ち上げました。代表取締役社長を議長に、50代までの若い役員、従業員をメンバーとして選抜し、ガリレイグループの新しい社会価値創造と企業価値向上に向けての議論を行っています。このグループ戦略会議は、各事業の有機的な連動を図り、グループの成長戦略を検討することを目的としていますが、持株会社体制移行の目的の一つでもある経営者の育成も意識した会議体になっています。

ガリレイグループは、ガリレイブランドを立ち上げた際にガリレイグループのありたい姿として「食といのちの未来を拓く挑戦者」を定めました。おいしさ、ゆたかさ、いのち、しあわせの未来をガリレイグループが切り拓くチャレンジャーであり続けたいという思いを込めており、その込めた想いがパーパスとして明示されました。グループ戦略会議ではグループの10年後のビジョンについて議論を重ねており、パーパス実現のためのストーリーを明確化しようという取り組みにチャレンジしています。



グループシナジー向上に向けた主な取り組み

■ MILABを活用し、オープンに新たな食を創造

2024年4月よりグループシナジーがより発揮できるようにレイアウトを改装し、大幅リニューアルを行いました。新しいMILABにて様々な業界団体や産官学との連携強化を図り、お客様や大学、研究機関との共創により、新しい技術やアイデアを生み出しています。グループ全社でMILABのさらなる活用を推進し、2024年度は4,326人の方にお越しいただき、過去最高の来場者数でした。また、食のスタートアップ支援の取り組みにおいては、新たに株式会社ARK（陸上養殖関連事業）がMILABオフィスに入居しました。今後もMILABのさらなる活用で、食のイノベーションを追求し、生活者のくらしの向上に貢献していきます。

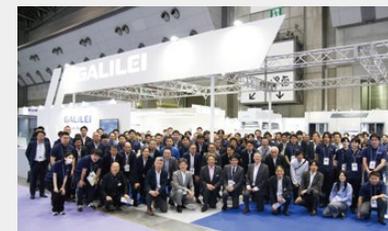


MILABオフィス
新規入居企業
株式会社ARK



■ グループ展示会「FOOMA JAPAN 2025」出展

2025年6月に開催された「FOOMA JAPAN (東京ビッグサイト)」に、ガリレイグループ5社で共同出展しました。「NOBRACが実現する食品工場・物流の未来」をテーマにグループが一体となって省エネ・省人化を提案するブースを作り、NOBRAC、SSJトンネルフリーザー、自動化ロボット/コンベアライン、差圧冷却庫、内装用ライオン照明付き天井パネル、器具洗浄機などを展示しました。当日はSSJトンネルフリーザーで凍結した国産ホタテの試食も行い、網目の付かない「美しい冷凍」も体験していただき、昨年以上の来場者数で大いに盛況でした。



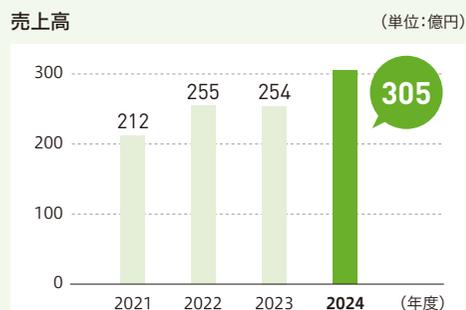
フードサービス事業



フクシマガリレイ株式会社
執行役員
フードサービス事業部長 **陣内 伸介**

2024年度レビュー

ノンフロン化したタテ型・ヨコ型業務用冷凍冷蔵庫及び小型製氷機の販売台数はやや減少しましたが、ブラストチラーやドゥコンディショナーの高単価製品の売上が復調しました。さらに、グループに加わった日本洗浄機の外食チェーン向け食器洗浄機や自動ゆで麺機の販売が好調だったため、前年を大きく上回る業績となりました。



■ 事業情報

1951年の創業以来続く「DNA事業」です。業務用冷凍冷蔵庫や製氷機をはじめ、急速凍結するブラストチラー／ショックフリーザーやパン生地の理想的な発酵を促すドゥコンディショナー、食器洗浄機や自動ゆで麺機など、省エネ性・温度コントロール技術・ユーザビリティにこだわった製品を数多く揃えています。



業務用冷凍冷蔵庫



ブラストチラー／ショックフリーザー



自動ゆで麺機

■ 事業の強み・課題

フードサービス事業の強みは、お客様に寄り添った製品開発と提案です。ノンフロン機器のような環境負荷を低減する製品や、省力化・省人化を実現する自動調理器の開発に力を入れています。また、これまで積み上げてきた凍結・解凍技術を駆使し、MILABを活用したフーズコンサルタント室のソフト提案力もガリレイグループの強みです。一方で、製品の付加価値をお客様に丁寧に説明していき、一緒にお困りごとを解決していくことが必要と感じています。

今後の成長戦略について

2024年に日本洗浄機がグループに加わったことで、新たな製品・技術が加わり、フードサービス事業の提案の幅が大きく広がりました。環境負荷の低減や省力化・省人化に寄与する製品の開発、凍結・解凍技術などの独自技術の深化を通じて、新しい価値を創出できるよう努めていきます。さらに、飲食店の厨房だけでなく、給食センターや食品工場の厨房においても、お客様のお困りごとを解決できるグループに成長していきます。

ショーケース事業



フクシマガリレイ株式会社
取締役
ST事業部長

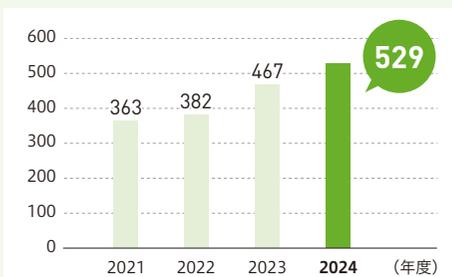
小田 学

2024年度レビュー

エリアをまたいで全国展開する新店が増加し、エネルギーコストの高騰の影響を受けた省エネ改装の需要が堅調に推移した結果、スーパーマーケット向けの販売が大きく増加しました。また、「Dramatic Future 2050」の取り組みの一環として自然冷媒を使用したショーケースの販売も、コンビニエンスストアを中心に好調に推移し、前年を大きく上回る業績となりました。

売上高

(単位:億円)



■ 事業情報

冷凍機内蔵型冷凍冷蔵ショーケース、冷凍機別置型冷凍冷蔵ショーケースを製造・販売しています。全国のスーパーマーケットやドラッグストア、コンビニエンスストアに並ぶ食材の鮮度を守るだけでなく、ITや高性能機器を駆使して魅力的で快適な店舗づくりを支えています。



冷凍機内蔵型
アイランドショーケース



冷凍機別置型ショーケース
CLAIR Send-you



CO₂冷媒冷凍機内蔵型
リーチインショーケース

■ 事業の強み・課題

ショーケース事業の強みは、自社で店舗の設計施工・メンテナンスまで一気通貫で担い、製販一体でのユーザーインの製品・システム提案・開発を行うことができます。国内でのエネルギーコスト高騰に対し、省エネ性と環境負荷の低い自然冷媒を用いた製品の販売や、店内環境を快適にしながらか空間全体で省エネを目指す「ガリレイエアテックシステム」の提案・導入を進めています。一方で、より一層省エネ性・環境性に特化した製品の開発が課題であり、小売流通業界におけるエネルギーコスト高騰などにはじまるお客様の課題解決に注力していきます。

今後の成長戦略について

2025年4月より、「冷媒ガス漏れ10年保証」を本格的に開始しました。DXを活用することで、ガス漏れだけではなく、機器異常や故障の予兆も未然に把握することができます。「Zero Call Company」の概念をしっかりとお客様に伝え、お客様にとっての価値に変えていくことが重要だと考えます。また、滋賀県湖南市に建設中の冷凍冷蔵ショーケースの新工場では、次世代の高付加価値製品の開発や生産能力増強など、さらなるシェア拡大に対応できる体制を構築します。環境性能をはじめ、品質の高い製品の開発や販売、アフターメンテナンスに全社で取り組み、社会課題解決とお客様ニーズの実現に努めます。

FMS事業

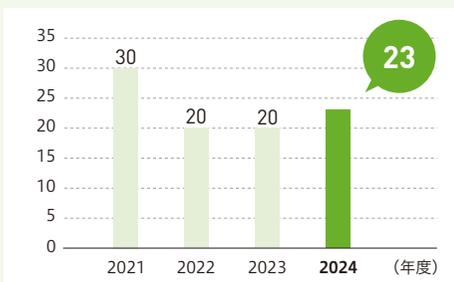


フクシマガリレイ株式会社
FMS事業部長代行 **村田 真史**

2024年度レビュー

近年のエネルギーコストの高騰など、物価高の影響により病院・クリニックへの販売が減少した一方で、調剤薬局・ドラッグストア向けの薬用保冷庫の入替需要が堅調に推移したことに加え、製薬卸企業向けの医薬品保管用のプレハブ冷蔵庫の需要が伸びたため、前年を上回る業績となりました。

売上高 (単位:億円)



■ 事業情報

医療・理化学分野に特化したメディカル向け製品を取り扱い、人々の「健康」や「いのち」を守る現場で活躍する機器を国内外で展開しています。低温インキュベーターや薬用保冷庫、メディカルフリーザー、超低温フリーザー、血液用冷蔵庫など、業務用冷凍冷蔵庫で培った温度コントロールの技術を応用して、医療や研究開発の現場を支えています。



ノンフロン薬用保冷庫
MediFridge



ノンフロン
メディカルフリーザー



ガリレイ未来医療国際拠点 GIFT
(中之島クロス)

■ 事業の強み・課題

FMS事業の強みは、食の分野で培った温度コントロール技術を応用し、医療・理化学分野に求められる緻密な温度管理を実現した製品を、全国各地の販売店様にまで提案可能であることです。また、国内工場に専任の開発者を置き、お客様のニーズに合った製品開発に取り組んでいます。一方で、グループでターゲット市場に設定している製薬・再生医療市場の開拓が課題です。全国エリアをカバーする営業体制を駆使してユーザーのもとへ足を運び、ユーザーインで製薬・再生医療に特化した製品開発に取り組み、開拓を行ってまいります。

今後の成長戦略について

グループターゲット市場である製薬・再生医療市場をはじめとしたユーザーに対し、付加価値の高いメディカル製品を拡販していくことで、製薬・再生医療の現場にお役立ちしていきます。メディカル製品の開発人材を強化し、お客様のもとに足を運ぶことで、ユーザーニーズを汲み取った製品の開発・提供を目指します。

サービス事業

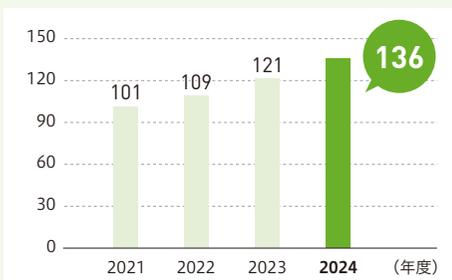


フクシマガリレイ株式会社
執行役員
サービス事業部長 **藤田 雄一**

2024年度レビュー

スーパーマーケットやコンビニエンスストア向けのショーケースのメンテナンスや、保守契約の売上が堅調に推移しました。さらに、業務用冷凍冷蔵庫や大型冷蔵倉庫などエンジニアリング事業関連のメンテナンス及び保守売上も増加した結果、前年を上回る業績となりました。

売上高 (単位:億円)



■ 事業情報

ガリレイグループ製品をお使いのお客様に寄り添い、業務用冷凍冷蔵庫や冷凍冷蔵ショーケースをはじめとしたメンテナンスや各種点検などの保守を通じて、現場の食の安全・安心を守り続けています。DXを推進し、予防メンテナンスを含め、さらに進化したサービスを追求しています。



メンテナンス・修理

冷媒ガス漏れ
10年保証

冷媒ガス漏れ10年保証



スマート診断

■ 事業の強み・課題

サービス事業の強みは、自社エンジニアによる修理率の高さです。自社で修理を行うことにより、社内の技術力強化だけでなく、お客様とエンジニアの接点が増えることでお客様のお困りごとを製品開発や営業に繋げることができます。また、AIを活用したスマート診断が故障予知に寄与しています。一方で、課題は冷凍冷蔵機器のメンテナンスだけではなく、加熱機器を含めた厨房機器全体など、メンテナンス業務の領域を拡大していくことです。人材確保と技術者育成を進め、各事業とのシナジーをさらに追求します。

今後の成長戦略について

スマート診断の精度をさらに向上させることで、取り組みを進めている「Zero Call Company」を実現し、製品故障に伴うフードロスの低減や冷媒漏えい量の削減に貢献していきます。大型冷蔵倉庫や食品工場など大規模施設の保守点検を含むメンテナンスを積極的に提案し、安全安心にお役立ちしていきたいと考えています。ガリレイアカデミーを活用し、社内外の技術者を育成するなどサプライチェーン全体の技術力向上を図ることで、メンテナンス先進企業を目指します。

エンジニアリング事業



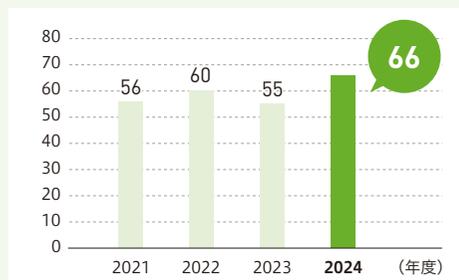
フクシマガリレイ株式会社
エンジニアリング事業部長 南畑 孝育

2024年度レビュー

低温物流業界での物流の2024年問題や主要都市を中心とした冷蔵倉庫の満床、老朽化による物流センター、冷蔵倉庫の建設需要が継続したことに加え、食品メーカーやスーパーマーケットのプロセスセンターなどを中心に設備投資が回復基調になったため、前年を上回る業績となりました。

売上高

(単位:億円)



■ 事業情報

冷凍冷蔵技術を中心に、グループ内外の多種多様な製品群のノウハウや技術を応用展開することにより、低温物流施設や食品工場をはじめとする施設全体のトータルソリューションを実践しています。お客様のお役に立ち、社会に貢献できるエンジニアリングを目指しています。



物流センター



プロセスセンター



CO₂冷凍システム
「NOBRAC」

■ 事業の強み・課題

エンジニアリング事業では、食品工場や物流の現場での人手不足や老朽化に伴う施設改修などの課題に対し、自社で設計、施工、メンテナンスを一貫して担うことができることを強みとしています。断熱パネルやトンネルフリーザー、搬送コンベアなど、ガリレイグループ全体の商材を活用した設備提案だけでなく、近年では食品工場や物流施設において、計画、初期のレイアウト提案段階から取り組むことで、お客様のニーズに対応した最適なトータルエンジニアリングの提供を実現しています。一方で、課題は販売チャネルの拡大です。既存の小売・流通分野に加え、医薬品物流・大手食品工場・冷蔵倉庫など、国内の未開拓市場への展開を進めていきます。

今後の成長戦略について

省エネ性・環境性に強みのあるCO₂冷凍システム「NOBRAC」を、低温物流施設をはじめとしたユーザーに拡販していきます。また、従来の強みである「冷やす技術」を中心に、取り組みを強化している食品工場のレイアウト提案に加え、空調設備や給排水衛生設備まで幅を広げるなど、より一層お客様にお役立ちできるエンジニアリングを目指します。

大型食品加工機械事業

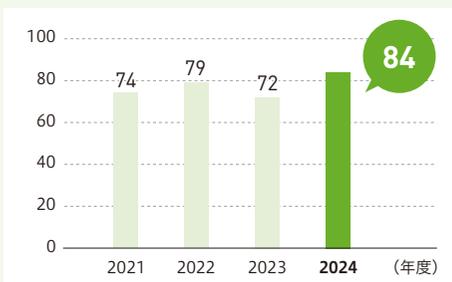


タカハシガリレイ株式会社
代表取締役社長 **鳴田 友和**

2024年度レビュー

食品メーカーを中心に設備投資が堅調に推移したため、タカハシガリレイのトンネルフリーザーの売上が伸びました。また、ショウケンガリレイ新本社工場が、生産性向上及び自動化・省人化設備のテストラボとして貢献し、食品工場向けの搬送ラインなどの売上が増加しました。その結果、大型食品加工機械事業は前年を上回る業績となりました。

売上高 (単位:億円)



■ 事業情報

タカハシガリレイは、連続式の急速凍結・冷却装置「トンネルフリーザー」を、日本で初めて開発・設計・製造したパイオニアです。創業から66年の実績と国内シェアトップクラスを誇ります。ショウケンガリレイは、食品工場向け機械設備・駆動系装置の専門メーカーとして、数多くの生産ライン・物流ラインの自動化・省人化・省力化を実現しています。



食品工場



連続式急速凍結装置
「トンネルフリーザー®」



包装出荷ラインシステム

■ 事業の強み・課題

タカハシガリレイでは、トンネルフリーザーの製造・販売に加え、近年ではソフト面の提案にも注力しています。TFS課(Total Food Solution)という安全で美味しい食品を届けるために「適材適冷」をご提案する冷却・凍結のプロフェッショナル集団を設けており、ソリューション型のビジネスモデルを強みとしています。ショウケンガリレイの搬送設備や省人化機器はグループシナジーを発揮する部分であり、近年は搬送領域における包装工程への取り組みである「ロボットSler(システムインテグレータ)」にも注力しています。

今後の成長戦略について

トンネルフリーザーのメーカーとしてだけでなく、CO₂冷凍システム「NOBRAC」の開発を通じて、環境性や省エネ性の深化に取り組み、さらなる付加価値を創造し、グループの占有率アップに取り組んでいます。国内で培った冷凍技術を活かし、海外のワールドチェーンへも展開していきます。自動化装置がもたらす省人化や省力化のニーズは益々高まると予想されます。設計力の強化と生産キャパシティを拡大し、より多くのお客様に対応できるようにしていきます。大型食品加工機械の分野には、専門性の高い企業が多数存在します。そのような企業と協力し、お客様に提案できる幅を広げて事業を拡大していきたいと考えています。

パネル事業



ガリレイパネルクリエイト株式会社
代表取締役社長

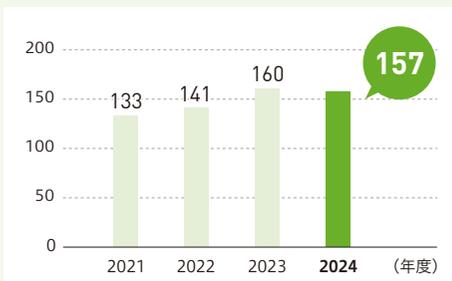
小島 佳則

2024年度レビュー

物流の2024年問題や主要都市を中心とした冷蔵倉庫の満床・老朽化などにより、物流センター、冷蔵倉庫の建設需要が堅調に推移しました。また、スーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの小型プレハブ庫の売上も増加しました。しかし、建設業界での人手不足による工期の長期化や計画の遅れや、近年販売を強化していた半導体、医薬品、リチウムイオン電池などの非冷分野でのクリーンルームの売上が伸び悩んだことなどにより、前年を若干下回る業績となりました。

売上高

(単位:億円)



■ 事業情報

多彩な高性能断熱パネルや独自の設計施工技術を活用し、「冷凍冷蔵空間」、「クリーンな作業空間」が求められる食品加工工場、物流センターをはじめ、スーパーマーケットやコンビニエンスストアのバックヤードなどに最適なパネルソリューションを提供しています。



LEDライン照明付きパネル天井



パネル扉



医療医薬向けクリーンルームパネル内装システム「PURE CIS」

■ 事業の強み・課題

パネル事業の強みは、パネルの設計、製造から施工に至るまで、ガリレイグループ全体で冷凍冷蔵設備工事を含めたトータルコーディネートを行うことができることです。設計力の強化を推進しており、冷凍冷蔵空間、非冷分野にも柔軟に対応しています。また、2025年1月に医療医薬向けクリーンルームパネル内装システム「PURE CIS(ピュア시스)」を発売しました。清掃性、気密性、耐薬品性に優れた断熱パネルにより、医療・製薬分野に必要な不可欠なよりクリーン環境を提供できるようになりました。

今後の成長戦略について

従来の主な市場である「冷凍冷蔵空間」に加え、クリーンルームに代表される「非冷空間」(半導体、製薬、再生医療など)の市場にも注力するため、パネル技術の肝となる設計力、工事施工力をより一層強化していきます。また、今後物流市場において需要の高まりが予想されます。この様な状況の下、前述の設計力、工事施工力の強化に加えて、生産性、品質力の向上を大きな目的として、次世代パネル新工場の建設を計画しています。営業・設計・工事・生産のそれぞれの力を結集し、お客様から頼りにされる存在となり、さらなる売上拡大を目指します。